



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日 東

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6460 URL <http://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 里見 治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 公一 (TEL) 03-6215-9955
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	88,366	△2.6	9,307	△42.3	10,011	△41.3	5,520	△57.4
26年3月期第1四半期	90,715	29.6	16,119	197.7	17,044	263.7	12,947	408.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,902百万円(△89.4%) 26年3月期第1四半期 17,892百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	22.66	22.56
26年3月期第1四半期	53.40	52.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	535,859	346,135	63.7
26年3月期	542,936	348,270	63.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 341,377百万円 26年3月期 343,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	△1.4	△8,000	—	△8,000	—	△7,000	—	△28.74
通期	450,000	19.0	35,000	△9.2	35,000	△13.6	21,000	△31.6	86.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	266,229,476株	26年3月期	266,229,476株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	22,405,786株	26年3月期	22,627,725株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	243,662,458株	26年3月期1Q	242,462,678株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年8月4日にアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	69,980	90,715	88,366	△2,349	△2.6
営業利益	5,415	16,119	9,307	△6,811	△42.3
経常利益	4,686	17,044	10,011	△7,033	△41.3
四半期純利益	2,544	12,947	5,520	△7,426	△57.4
	円	円	円	円	%
一株当たり四半期純利益	10.17	53.40	22.66	△30.74	△57.6

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・財政政策の効果を背景に株高の傾向となり、デフレ脱却と景気回復への期待感が高まったものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要からの反動減も影響したことから依然として不透明な状況となりました。

このような状況の中、遊技機業界におきましては、パチンコホール運営者における機械選別が進んでいることから、一部の主力製品に受注が集中する傾向にあり、パチスロ遊技機における新台入替は引き続き堅調に推移している一方、パチンコ遊技機の新台入替は引き続き低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、エンドユーザーに支持される機械の開発、供給等が求められております。

アミューズメント業界におきましては、スマートフォンをはじめとした遊びの多様化並びに市場を牽引するタイトルの不在により、市場が低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、多様化する顧客ニーズに応じた斬新なゲーム機の開発、供給等が期待されています。

家庭用ゲーム業界におきましては、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やスマートフォン向けなどのデジタルゲーム市場における需要が拡大する一方で、パッケージゲーム市場は低調に推移しております。

このような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は883億66百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は93億7百万円(前年同期比42.3%減)、経常利益は100億11百万円(前年同期比41.3%減)となり、四半期純利益は55億20百万円(前年同期比57.4%減)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《遊技機事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	33,775	51,824	47,434	—	—
セグメント間売上高	18	68	41	—	—
売上高合計	33,794	51,892	47,476	△4,416	△8.5
営業利益	7,847	18,715	12,911	△5,803	△31.0
	台	台	台	台	%
パチスロ販売台数	80,906	108,247	82,901	△25,346	△23.4
パチンコ販売台数	23,764	28,606	50,806	22,200	77.6

パチスロ遊技機におきましては、主力タイトルであるサミーブランド『パチスロ蒼天の拳2』を販売し、概ね堅調に推移したものの、前年同期実績を下回る82千台の販売となりました。パチンコ遊技機におきましては、サミーブランド『パチンコCR化物語』の販売が好調に推移した結果、前年同期実績を上回る50千台の販売となりました。

以上の結果、売上高は474億76百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は129億11百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

遊技機の主要販売機種名及び販売台数

パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
パチスロ蒼天の拳2	(サミー)	74千台
パチスロ ロストアイランド	(サミー)	4千台

パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
パチンコCR化物語	(サミー)	32千台
CR機動新撰組 萌えよ剣3	(タイヨーエレクト)	6千台
ぱちんこCR戦乱BurST!	(サミー)	6千台

《アミューズメント機器事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	8,382	6,843	7,246	—	—
セグメント間売上高	584	783	995	—	—
売上高合計	8,966	7,627	8,242	614	8.1
営業利益	201	△438	△669	△231	—

アミューズメント機器事業におきましては、『WORLD CLUB Champion Football』シリーズにおけるCVTキットやカード等の消耗品の販売、『ボーダーブレイク』シリーズ、『セガネットワーク対戦麻雀 MJ5 EVOLUTION』などのレベニューシェアタイトルによる配分収益が計上されたものの、主力タイトルの販売がなかったため、売上高は82億42百万円（前年同期比8.1%増）、営業損失は6億69百万円（前年同期は営業損失4億38百万円）となりました。

アミューズメント機器の主要販売タイトル名及び販売実績

タイトル名		販売実績
「WORLD CLUB Champion Football」シリーズ	トレーディング カードゲーム	4億円
「ボーダーブレイク」シリーズ	ビデオゲーム	3億円
セガネットワーク対戦麻雀 MJ5 EVOLUTION	ビデオゲーム	2億円

※販売実績は、カード等の消耗品販売やレベニューシェアタイトルによる配分収益等を含んでおります。

《アミューズメント施設事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	10,012	10,016	9,621	—	—
セグメント間売上高	0	4	1	—	—
売上高合計	10,012	10,020	9,623	△397	△4.0
営業利益	428	△92	△465	△373	—
	店舗	店舗	店舗	店舗	%
国内アミューズメント施設数	240	201	201	—	—
(参考)	%	%	%		
国内既存店舗売上高前年同期比	94.6	92.5	99.4	—	—

アミューズメント施設事業におきましては、前期に引き続き既存店舗の運営力強化を行い、国内既存店舗の売上高は前年同期比99.4%でしたが、消費税率引き上げによる売上高減少の影響を受けました。

当第1四半期連結会計期間末の国内店舗数は、3店舗の出店を行った結果、店舗数は201店舗となりました。

以上の結果、売上高は96億23百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は4億65百万円（前年同期は営業損失92百万円）となりました。

《コンシューマ事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	14,929	18,822	21,150	—	—
セグメント間売上高	166	72	251	—	—
売上高合計	15,095	18,895	21,402	2,506	13.3
営業利益	△1,559	39	△282	△321	—
	万本	万本	万本	万本	%
ゲームソフト販売本数	134	121	170	48	40.2

コンシューマ事業におきましては、パッケージゲーム分野において、『ペルソナQ シャドウ オブ ザ ラビリンス』などの新作タイトルの販売を行い、パッケージ販売本数は、米国63万本、欧州64万本、日本42万本、合計170万本となり、前年同期実績を上回りました。

一方で、携帯電話・スマートフォン・PCダウンロード等のデジタルゲーム分野におきましては、オンラインRPG『ファンタシースターオンライン2』や、『ぷよぷよ!!クエスト』、『チェインクロニクル』等のスマートフォン向け配信タイトルは堅調に推移しております。また、携帯電話・PC向けパチンコ・パチスロゲームサイトにおいては、スマートフォン対応版『777TOWN for Android』及び『777TOWN for iOS』並びにDeNA向け『モバ7』の取り組みを強化しております。

なお、デジタルゲーム分野における国内配信タイトル数は平成26年6月末時点で134本（うち、売切り型73本、無料プレイ型61本）となりました。

玩具販売事業におきましては、『アンパンマンシリーズ』及び『ジュエルポッドシリーズ』などの定番商品を中心に販売を実施いたしました。

アニメーション映像事業におきましては、観客動員が300万人を突破した劇場版『ルパン三世vs名探偵コナン THE MOVIE』の配給収入やTVシリーズ『弱虫ペダル』などが好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は214億2百万円（前年同期比13.3%増）となりましたが、広告宣伝費等の増加により、営業損失は2億82百万円（前年同期は営業利益39百万円）となりました。

ゲームソフトの主要販売タイトル名及び販売本数

タイトル名	販売地域	プラットフォーム	販売本数
ペルソナQ シャドウ オブ ザ ラビリンス	日	3DS	25万本

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきまして、主にパチスロ遊技機において主力製品の販売を行ったことや、パチンコ遊技機の販売が好調に推移していることなどを要因に、営業利益、経常利益及び四半期純利益が平成26年5月9日に公表した平成27年3月期第2四半期連結累計期間業績予想を超過しております。

一方で、第2四半期においては、当社子会社のフェニックスリゾート株式会社が運営するフェニックス・シーガイア・リゾートの一部の施設について、将来的に利活用しないことを取締役会決議したことに伴う損失の発生を見込んでいることに加え、遊技機事業における販売スケジュールやデジタルゲーム分野のサービス状況等の動向を見極める必要があることから、平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、平成26年5月9日の公表内容から変更はありません。

業績予想修正の必要がある場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準第26号。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準適用指針第25号。以下、「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が812百万円、繰延税金資産が101百万円減少し、利益剰余金が711百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,220	125,752
受取手形及び売掛金	48,108	58,832
有価証券	107,713	65,513
商品及び製品	6,130	6,781
仕掛品	13,610	17,021
原材料及び貯蔵品	16,189	12,597
その他	25,824	28,602
貸倒引当金	△323	△358
流動資産合計	318,475	314,743
固定資産		
有形固定資産		
土地	39,029	39,144
その他(純額)	63,133	65,322
有形固定資産合計	102,162	104,467
無形固定資産		
のれん	18,915	17,435
その他	12,879	12,829
無形固定資産合計	31,795	30,265
投資その他の資産		
投資有価証券	60,825	55,284
その他	30,483	31,875
貸倒引当金	△805	△777
投資その他の資産合計	90,503	86,382
固定資産合計	224,461	221,116
資産合計	542,936	535,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,292	32,883
短期借入金	12,918	12,913
未払法人税等	6,288	2,414
引当金	4,782	2,723
資産除去債務	325	244
その他	29,461	29,640
流動負債合計	91,069	80,819
固定負債		
社債	37,800	47,800
長期借入金	35,198	34,060
退職給付に係る負債	6,053	5,289
役員退職慰労引当金	146	127
資産除去債務	2,165	2,197
その他	22,232	19,429
固定負債合計	103,596	108,903
負債合計	194,666	189,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	119,312	119,302
利益剰余金	219,684	220,812
自己株式	△37,971	△37,600
株主資本合計	330,977	332,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,804	13,552
繰延ヘッジ損益	0	△6
土地再評価差額金	△4,705	△4,705
為替換算調整勘定	△2,281	△2,362
退職給付に係る調整累計額	2,504	2,431
その他の包括利益累計額合計	12,322	8,909
新株予約権	1,078	1,114
少数株主持分	3,892	3,643
純資産合計	348,270	346,135
負債純資産合計	542,936	535,859

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	90,715	88,366
売上原価	48,770	50,496
売上総利益	41,945	37,870
販売費及び一般管理費	25,826	28,562
営業利益	16,119	9,307
営業外収益		
受取利息	85	73
受取配当金	467	567
持分法による投資利益	-	108
為替差益	739	10
投資事業組合運用益	49	40
その他	210	319
営業外収益合計	1,552	1,120
営業外費用		
支払利息	205	208
持分法による投資損失	38	-
デリバティブ評価損	106	-
社債発行費	-	55
その他	276	153
営業外費用合計	626	417
経常利益	17,044	10,011
特別利益		
固定資産売却益	3,076	-
投資有価証券売却益	254	128
その他	0	30
特別利益合計	3,331	158
特別損失		
固定資産売却損	2	67
投資有価証券評価損	16	-
関係会社株式売却損	-	255
特別損失合計	18	322
税金等調整前四半期純利益	20,357	9,846
法人税、住民税及び事業税	7,379	4,492
法人税等合計	7,379	4,492
少数株主損益調整前四半期純利益	12,977	5,354
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30	△166
四半期純利益	12,947	5,520

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30	△166
少数株主損益調整前四半期純利益	12,977	5,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,774	△3,249
繰延ヘッジ損益	25	△7
為替換算調整勘定	889	366
退職給付に係る調整額	-	△72
持分法適用会社に対する持分相当額	225	△489
その他の包括利益合計	4,914	△3,452
四半期包括利益	17,892	1,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,765	2,107
少数株主に係る四半期包括利益	126	△205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,824	6,843	10,016	18,822	87,507	3,208	90,715
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	68	783	4	72	929	153	1,083
計	51,892	7,627	10,020	18,895	88,436	3,362	91,799
セグメント利益又は損失(△)	18,715	△438	△92	39	18,224	△425	17,799

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	18,224
「その他」の区分の損失	△425
セグメント間取引消去	54
全社費用(注)	△1,734
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	16,119

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,434	7,246	9,621	21,150	85,454	2,912	88,366
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	995	1	251	1,290	186	1,477
計	47,476	8,242	9,623	21,402	86,745	3,098	89,843
セグメント利益又は損失(△)	12,911	△669	△465	△282	11,493	△618	10,875

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	11,493
「その他」の区分の損失	△618
セグメント間取引消去	34
全社費用(注)	△1,602
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	9,307

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結会計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。